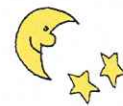




第二なでしここども園





園庭設計の必要性

「運動能力」と「挑戦意欲」が獲得できる園庭づくり

子ども達が生涯を過ごすために必要な「運動能力」と「挑戦意欲」は、園庭で遊ぶ幼児期にその基礎部分が構築されてしまいます。だからこそこの幼児期に十分に身体を使って遊ぶこと、そしてできるまで挑戦する習慣が身につく「園庭環境を整えること」が私たち大人の責任であるとアネビーは考えています。つまり自然遊びの要素を上手に取り入れ、さらに「遊びの価値」を向上させる魅力的な遊具を取り入れた「園庭づくり」が必要なのです。

子ども同士で学び合うための遊具施設

言葉だけでは教えることができない「困難なことに挑戦する意欲」や、「いじめや不正と闘う勇気やリーダーシップ」は「大人に監視されていない子ども同士の集団で、自由に遊ぶこと」によって育まれます。だから子ども同士で競争や挑戦をしたり、隠れ家で空想物語を協調して演じることができる遊具が不可欠なのです。

「感性」を育む園庭づくり

今、日本の子ども達に必要な不可欠な能力は、独創性が重視される「感性」だと言われてます。北欧の国スウェーデンでは、幼稚園・保育園をプレスクール(事前学校)とし、「昼間の家庭」と呼びます。「家庭」とは「家」と「庭」から成り立ち、「庭」は「心や感性」を育むためになくてはならないものと考えられています。つまり「庭」にはできる限りの自然を取り入れ、色彩感覚の優れた「想像と創造する力」を育てる美しいデザインの遊具を取り入れた園庭をご提案したいと考えています。

「自然 × 遊具」でもっと遊び込める園庭へ

自然

— 感性の育み —



泥や水と戯れる楽しさを知ったり、木々や草花から四季を感じることで、自然と生きる子どもは、想像力や慈しみの心がより豊かに育まれていきます。



遊具

— 身体能力の育み —



子どもたちが生涯を過ごすために必要な「運動能力」と「挑戦意欲」は、園庭で遊ぶ幼児期にその基礎部分が構築されます。だからこそ、幼児期に十分に身体を使って遊ぶことが大切であると私たちは考えます。



アネビーが考える大切な5つの感覚

「新五感」

「運動能力」と「挑戦意欲」が獲得できる園庭づくりに大切な5つの感覚

人間には、よく知られた「五感」の他にも10種類以上の感覚があります。

その中でも将来の学習や社会性の基盤になる大切な5つの感覚をアネビーでは「新五感」と呼んでいます。



幼児期の終わりまでに、将来の学習や運動、社会性につながる力(根っこ力)を育むのが大切だと言われますが、その力は段階を飛ばしてトレーニングしても身に付きません。前の段階をしっかりと育まないと次の段階には進まないのです。そのもととなるのは、感覚の刺激を受け取り、身体を動かすこと。遊具や園庭環境に新五感への刺激を取り入れ、新五感の感覚と対応するからだの動きを経験することが最終的に「根っこ力」につながっていきます。

感覚の多様性の視点でみた発達の遊び場

選べる環境

子どもは、本能的に発達に必要な「動き」ができたときに楽しいと感じます。つまり「やりたいこと」=「発達に必要なこと」なのです。走りたい、滑りたい、回りたい—と思ったときにその動きが選べる環境が必要です。

いつでもできる環境

たとえば屋内活動はからだ遊びの部屋とままごと遊びの部屋が違うなど、空間が分かれてしまいがちです。やりたい動きや遊びが自由に選択できる環境こそが発達の環境です。

失敗できる環境

遊びは、失敗と挑戦の連続です。遊びは子どもに選択の自由が与えられた最初の活動です。だからこそ主体性を尊重し、失敗も成功も選択の結果と感じられる環境で遊ぶ。失敗する権利は成功の権利です。



★: 見守りポイント

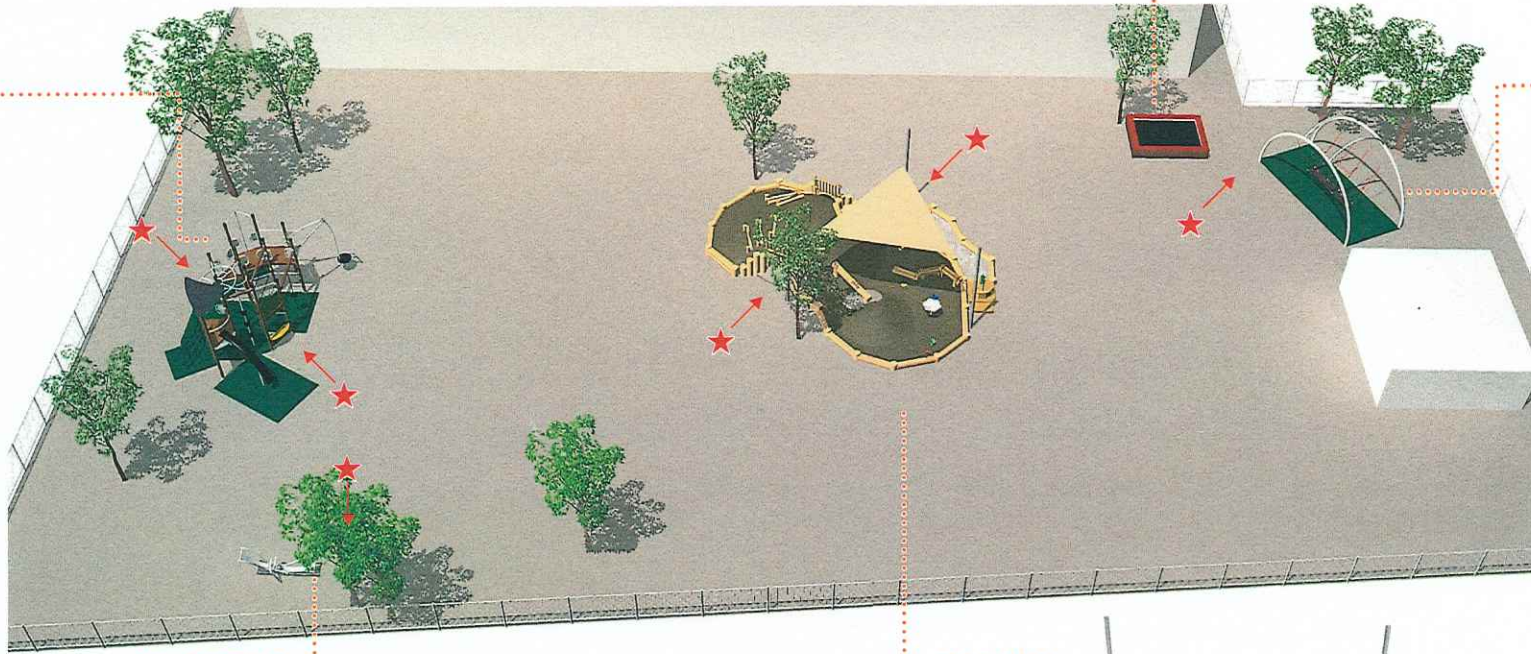


飛び跳ねるたびに無重力のような浮遊感を味わえます。空中でバランスを取る為に全身の筋肉を使うので、体幹を鍛えるのにも役立つアイテムです。

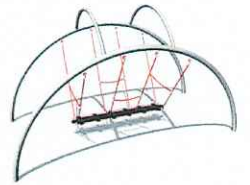
ボディ堂 バランス堂

トランポリン
みんなで！ひとりでも！
思いっきりはねるトランポリン。

幼児用複合遊具
挑戦的なアイテムが入った、
幼児用の複合遊具。



エルシ
座って、立って、
乗って押して、寝そべて。
みんなで遊ぶからみんなの
物語がここから始まる。

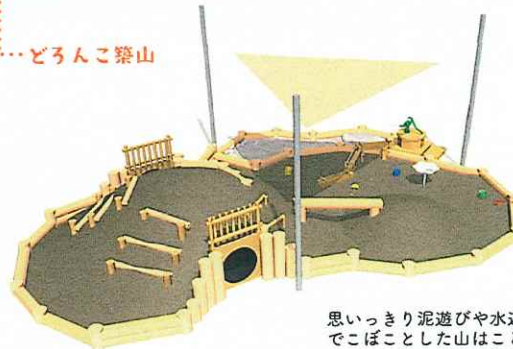


ドラゴンフライ...

座っても寝そべても乗れるシーソー。
真ん中に戻る仕組みなので、不思議な浮遊感が楽しい！



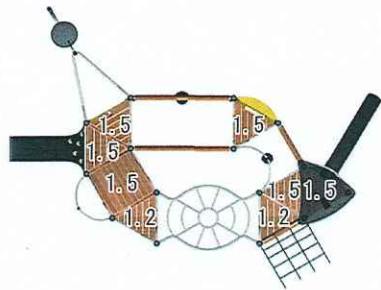
どろんこ祭山



思いっきり泥遊びや水遊びができるエリア。
でこぼこした山はこどもたちの足や感覚を刺激し
バランス堂の発達を促します。



平面図S=1:100 (A3)

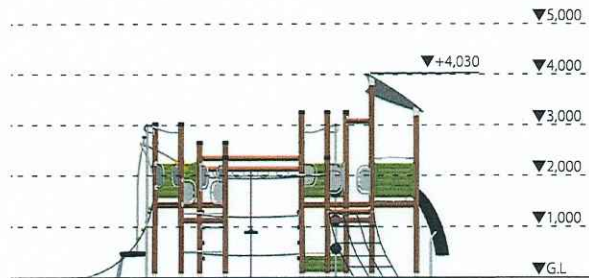


※デッキ上の数字はGLからの高さ (m) を示します。

5,550

7,250

立面図S=1:100 (A3)



01. グライダー

06. アームストレッチ

02. お店台

03. ポストグリップ

03. ポストグリップ

04. なまけものロープ

05. トルネード

14. ボールポスト

07. バランスロープ

08. 舵

09. ウォブルクライミング

10. ファイヤーマンポール

11. ステップラダー

12. ロンド

13. スクランブルネット



01. グライダー



階段の手すりを滑り降りる時の爽快感が味わえます。手足でバランスを取り、重心移動を経験しながら複数の動作を同時に行う身のこなしを獲得します。

ボディ覚 バランス覚



02. お店台



お店やさんなどのごっこ遊びにぴったりのアイテムです。想像力次第でいろいろなストーリーが生まれます。友達との関係づくりに最適です。

タッチ覚 ボディ覚



03. ポストグリップ



支柱をクライミングツリーに変身させて、スペースを有効活用できます。グリップはしっかりと掴まることができるようにデザインされています。

ボディ覚 バランス覚



04. なまけものロープ



ロープ途中の円盤の上で座って揺れたり、一休みしたり、回ったり、足がかりにして上に登ったりといろいろな遊び方を発見できます。

ボディ覚 バランス覚



05. トルネード



回転塔と違い、自分の力だけで回転するため安全です。左右に弾みをつけてからぎゅっと身体を引き寄せるとスムーズに回ることができます。

ボディ覚 バランス覚



06. アームストレッチ



ぶら下がりが、横移動する遊びです。全身を伸ばし体を動かすので、特に上半身の筋肉を使います。

ボディ覚 バランス覚



07. バランスロープ



3本のロープ上を伝って渡るだけでなく、ぶら下がったり、足場にしたり、遊びながらバランス感覚を高めていきます。

ボディ覚 バランス覚



08. 船



ひとたび舵を握ればみんな船長へと早変わり!子ども達は想像力を膨らませながら冒険の世界へと旅にでます。

ボディ覚 視覚



09. ウォブルクライミング



弾性のあるゴム製の板にクライミンググリップが付いています。不安定に揺れる足がかりや手がかりを使って登ることで、体幹が鍛えられます。

ボディ覚 バランス覚 タッチ覚

遊びの 카테고리・アイコンの説明



■ 外遊びの要素

1. 〈自然・観察〉 花や虫・風と雨・雲の形や空の色
2. 〈造形・工作〉 土・砂。水・木の実や葉・枝などを使う
3. 〈研究・実験〉 水を入れる・混ぜる・溜める・流す
4. 〈ごっこ・協力〉 役割遊び・運んだり運ばれたり
5. 〈ルール・競争〉 ルールに基づき競う・スポーツなど
6. 〈親い・ふれあい〉 話し合う・(生き物の)世話をする



■ カラダ遊びの 카테고리

7. 〈もぐる・這う〉 もぐりトンネル・ネットトンネル
8. 〈歩く・バランス〉 吊橋・バランスロープ・振り子ブリッジ
9. 〈回る・漕ぐ〉 トルネード・なまけものロープ
10. 〈掴む・登る〉 スネイキー・クライミングウォール・ポストグリップ
11. 〈飛ぶ・飛び降りる〉 ファイヤーマンボール
12. 〈ぶら下がる・揺れる〉 ロンド・フラットネット・トリックラダー
13. 〈滑る・走る〉 すべり台・空中ケーブル・傾斜を使った遊び

遊びにより発達する感覚の説明

- バランス覚** 揺れ・スピード・バランスなど重力に対するからだの状態を認知する感覚
- タッチ覚** 皮膚に接触した時に感じ、刺激の強さや温度などを認知する感覚
- 聴覚** 音の強弱や高低、音色、リズム、言語を把握する
- ボディ覚** からだの位置や動きを立体視し、ボディイメージや物の重さを認知する感覚
- 視覚** 光の明暗や色に関する感覚で、大きさ、高さ、遠近感などを把握する

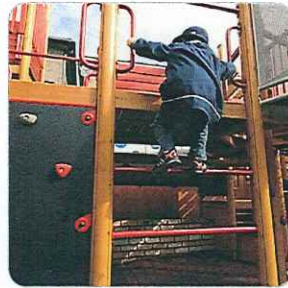


10.ファイヤーマンボール



勇気を出して消防士のようにボールに飛びつき、滑り降りる遊びです。着地の衝撃への慣れとバランス感覚を身につけることができます。

ボディ覚 バランス覚



11.ステップラダー



子ども達はいつも、「今できる事」のほんの少し先に挑戦しています。等間隔で揺れないステップラダーは、幼児向けでは最も簡単な登り遊びの一つです。

ボディ覚



12.ロンド



場所によってバーの距離が異なるため、子ども達それぞれのレベルに合わせて挑戦の難易度が変化する楕円形のうんていです。

ボディ覚 視覚



13.スクランブルネット



簡単そうに見えても思いのほか登るのが難しく、体重が増えれば増えるほど自分自身を支える力が必要となります。

ボディ覚 バランス覚



14.ボールポスト



木の幹を思わせるまっすぐなポストと、枝や節のようなボールを足場にして登り、手と足の調整能力を身につけていきます。

ボディ覚 バランス覚

遊びのカテゴリー・アイコンの説明



■外遊びの要素

1. 〈自然・観察〉 花や虫・風と雨・雲の形や空の色
2. 〈造形・工作〉 土・砂。水・木の実や葉・枝などを使う
3. 〈研究・実験〉 水を入れる・混ぜる・溜める・流す
4. 〈ごっこ・協力〉 役割遊び・運んだり運ばれたり
5. 〈ルール・競争〉 ルールに基づき競う・スポーツなど
6. 〈懇い・ふれあい〉 話し合う・(生き物の)世話をする



■カラダ遊びのカテゴリー

7. 〈もぐる・這う〉 もぐりトンネル・ネットトンネル
8. 〈歩く・バランス〉 吊橋・バランスロープ・振り子ブリッジ
9. 〈回る・漕ぐ〉 トルネード・なまけものロープ
10. 〈掴む・登る〉 スネイキー・クライミングウォール・ポストグリップ
11. 〈飛ぶ・飛び降りる〉 ファイヤーマンボール
12. 〈ぶら下がる・揺れる〉 ロンド・フラットネット・トリックラダー
13. 〈滑る・走る〉 すべり台・空中ケーブル・傾斜を使った遊び

遊びにより発達する感覚の説明

- バランス覚** 揺れ・スピード・バランスなど重力に対するからだの状態を認知する感覚
- タッチ覚** 皮膚に接触した時に感じ、刺激の強さや温度などを認知する感覚
- 聴覚** 音の強弱や高低、音色、リズム、言語を把握する
- ボディ覚** からだの位置や動きを立体視し、ボディイメージや物の重さを認知する感覚
- 視覚** 光の明暗や色に関する感覚で、大きさ、高さ、遠近感などを把握する



全身で水に入ったり木や土に直接ふれることで感性を養います。また、水は園庭中の他の様々な遊びを豊かにします。



参考写真



幅の広い丸太の砂場枠ベンチや作業台になるだけでなく平均台遊びも誘います。

ダイナミックなどろんこ遊びができます。水を溜めやすい粘性のある土を使うと山の形が何日も残り、日をまたいで遊びが発展していきます。



サンドテーブルフラワー

みんなで協力して水を遠くまで運んでみましょう。

丸太の一本橋

どろんこの上を渡るからスリルがあります。最初はずりずりと這って渡って、立って渡れるようになれば一人前。

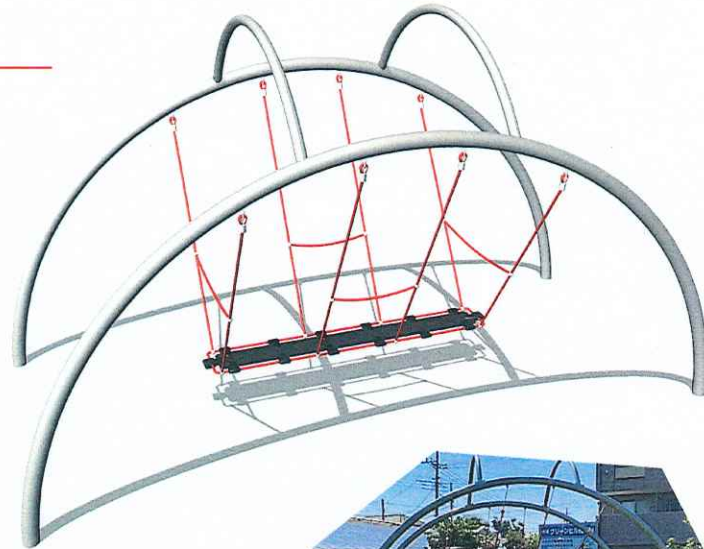
立面図 S=1:100



エルシ eruci



◀Youtube
【インクルーシブ遊具 エルシ™】
プロモーションビデオ



異なる年齢の子どもも
一緒に遊べる！



◀Youtube
【インクルーシブ遊具エルシ™の遊び方④】
エルシを待つ2歳児と、その子に対する反応の違い
【明德そでの保育園（千葉県習志野市）編】

Inclusive!

PHYSICALスキル

- 座って乗る / しゃがんで乗る **前庭覚**
＜落ちないように姿勢を維持する＞
- 揺れる足場があるので不安定な状況で立つ **前庭覚**
＜重心でバランスを保つ＞
- 腕力で体が投げ出されないようにする **固有覚**
＜筋力アップ＞
- チャレンジ性が欲しかったらロープに座る **固有覚**
＜自信アップ＞
- 動いているときに乗る / 降りる **固有覚**
＜状況判断能力＞

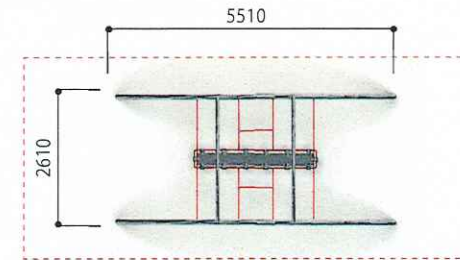
エルシでみにつくスキル

SOCIAL・LIFEスキル

- 1人でも大人数でも、年齢に関係なく乗れて、交流が可能 **＜インクルーシブ＞**
- 複数人でスピードをつける **＜チームワーク＞**
- ゆっくりにしてもらう / 止めてもらう **＜声かけ＞**
- ごっこ遊びが広がる **＜想像力・言語能力・社会性＞**



◀Youtube
【インクルーシブ遊具エルシ™の遊び方④】
それぞれの「初めて」
【明德そでの保育園（千葉県習志野市）編】



平面図 S=1:100

▼4000

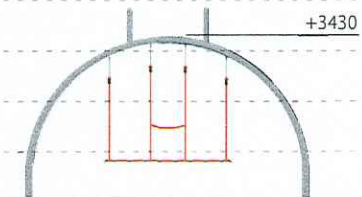
▼3000

▼2000

▼1000

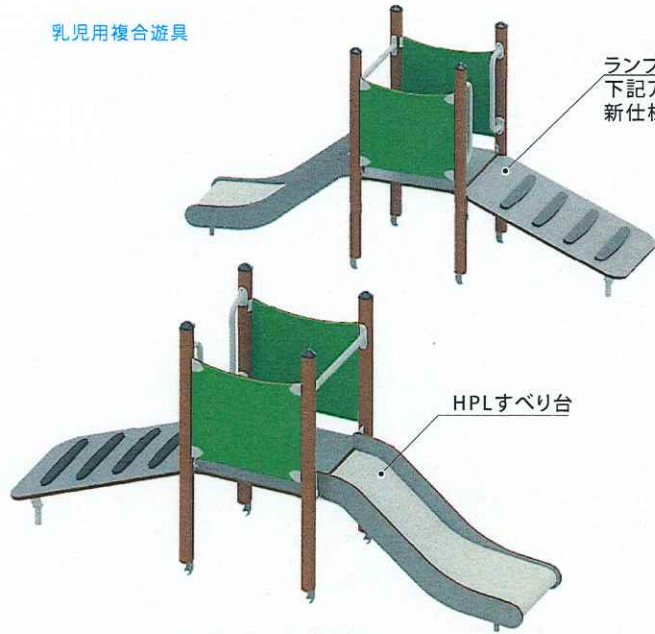
▼G.L.

立面図 S=1:100





乳児用複合遊具

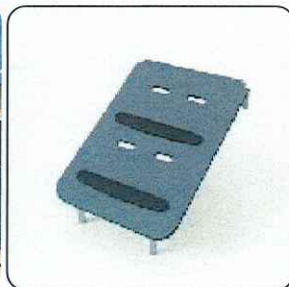


ランプ
下記アイコンの
新仕様のものになります

HPLすべり台

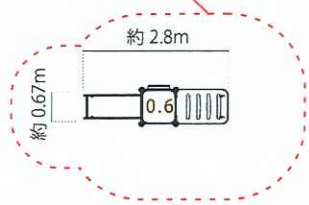


HPLすべり台

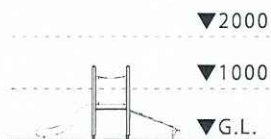


ランプ

インパクトエリアを示す
(5750×4100mm)



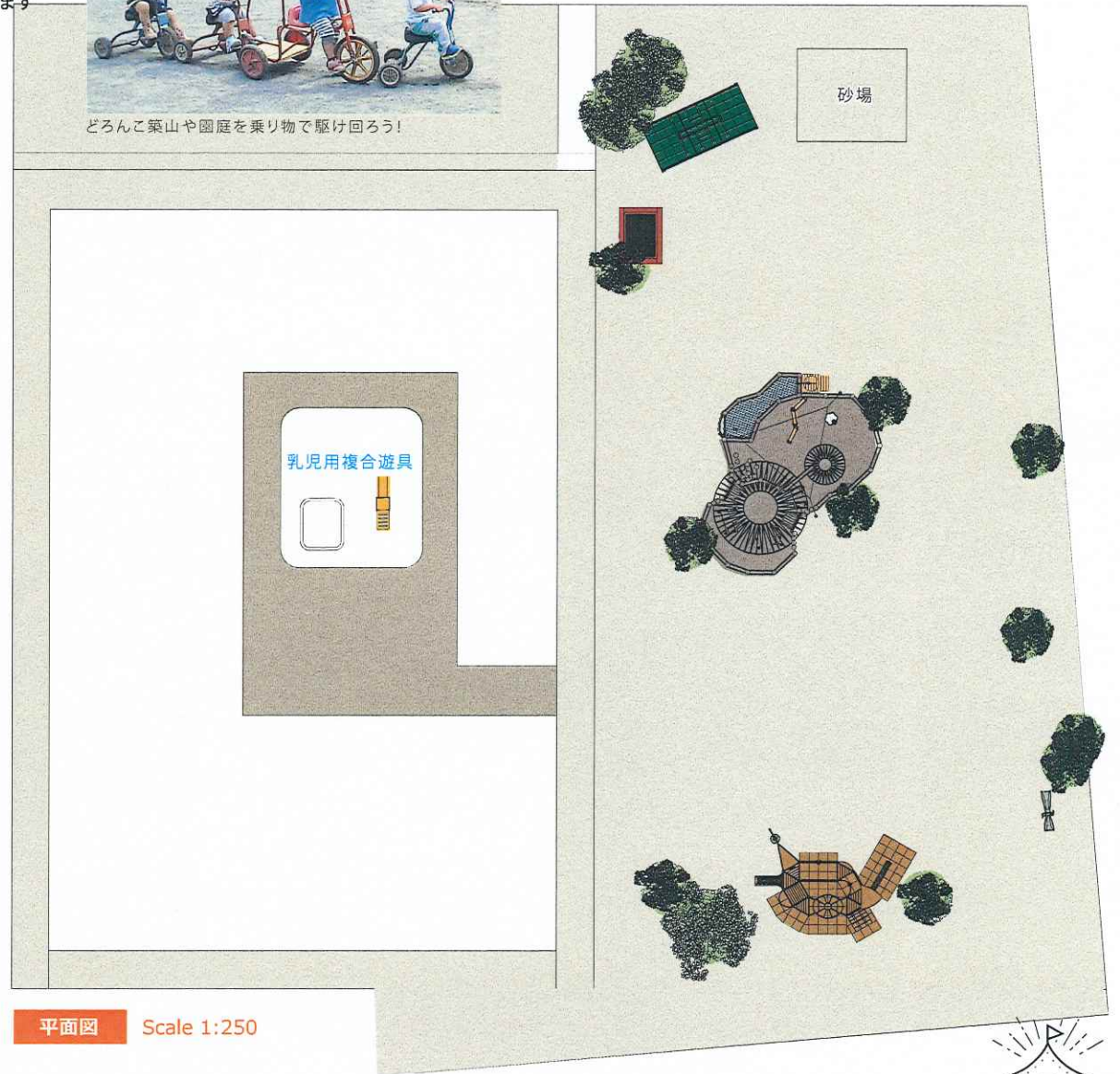
平面図 S=1:100



立面図 S=1:100



どろんこ築山や園庭を乗り物で駆け回ろう!



平面図 Scale 1:250